

(1) 水桜学園の開校に向けた取組の推進

①水桜カリキュラム(水桜TGALの推進)

探究的な学びの推進。9年間の系統性を持ったテーマとカリキュラムマネジメント



②部活動の地域移行

③中学校区単位のCS

④水桜学園開校に向けた各種課題の検討

(2) 授業改善～令和の日本型教育の推進

①教師が何を教えたか→子どもが何を学んだか

授業時間中の子どもが「主体的に思考している時間」の質と量を増やす

②読書など日常から文章に触れる機会を通じて、語彙力や

読解力向上を図り、多様な価値に触れる機会を増やす

(3) 誰一人取り残さない教育の推進

①生徒指導、支援教育、人権教育

など校務分掌を超えて連携し、専門家も交えながら、担任や担当で抱え込むのではなく、「チーム学校」として対応する

②発達支持的生徒指導を推進し、生徒との信頼関係を構築し、生徒の自己指導能力を育成する

将来の自立をめざして自分の生き方を見つける子ども
(門真市教育振興基本計画2021)

「つながり」「多様性」「チャレンジ」
(水桜学園のコンセプト)

「自立」「共生」「チャレンジ」
(学校教育目標)

(4) 教職員の働き方改革



①ICTツールの積極的活用による効率化(例:掲示板やチャットの活用)

②綱紀保持の徹底とハラスメントを許さない職場環境の醸成

3つの
キーワード

- 「さよなら第四中学校」 3月20日(祝)地域会議で予算確保いただき、探究的な学びと連携して全校生徒で取り組む。
- アウトプットデイ 年3回 6月27日(金)、11月28日(金)、2月13日(金)
- 水桜学園をどのような学校にしていきたいか。**ルールメイキング**の手法により生徒、保護者を巻き込み議論→校則などへ